ムーンフェイス

Cushing 症候群

・概念：副腎からコルチゾールが自律性かつ過剰に分泌される病態
・年齢　30～40才で最も多く、男：女　1：1.8
・症候
　1）特徴的身体所見
　　コルチゾール過剰
　——中心性肥満，満月様顔貌，野牛様脂肪沈着、赤色皮膚線条
　　アンドロゲン過剰
　——多毛、座瘡などの男性化症状
　2）非特異的な所見
　　——高血圧、糖尿病、骨粗鬆症、尿路結石、爪白癬、
　　カンジダ症

Cushing症候群 コルチゾール高値

満月様顔貌・赤ら顔
にきび　　buffalo hump
中心性肥満
（躯幹に比して四肢が細い）
筋力低下
皮膚の菲薄化
皮下出血斑
赤紫色皮膚伸展線条　　多毛
高血圧
耐糖能異常
月経異常
骨粗鬆症

（Williams, Endocrinologyより）

クッシング病．
副腎腺腫．
⋮ などきちんと見分けなければ
正しい治療はできない。

内分泌刺激試験．
CRHテスト

反応
（甲状腺機能低下）

（甲状腺機能亢進）

Cushing症候群の臨床症状

中心性肥満（90%）
満月様顔貌（95%）
野牛肩　buffalo hump（85%）
皮膚線条（65%）
皮下溢血（60%）
ざ瘡（60%）
多毛（55%）
浮腫（45%）
高血圧（85%）
月経異常（80%）
糖尿（50%）
筋力低下（55%）
精神症状（分裂病様、鬱病様、多幸）（25%）
骨粗鬆症・骨折（35%）
色素沈着（25%）

副腎皮質機能低下症

1）原因となった病変部位による分類
　原発性（副腎）
　続発性（視床下部・下垂体）
2）発症の経過による分類
　慢性
　急性

Addison病（慢性・原発性副腎皮質機能低下症）

【疫学】特発性　約42%、結核性　約37%、
　男女比　1：1、50～60歳代
【原因】
　（1）感染性性疾患　結核性、サイトメガロウイルス、
　　AIDS
　（2）特発性Addison病　副腎萎縮、抗副腎抗体陽性
　（3）多腺性自己免疫性症候群（自己免疫性）
　　特発性Addison病＋内分泌腺の自己免疫性疾患合併

【病態生理】
副腎皮質の90%以上の組織が破壊されるとホルモン低下
【臨床症状】
易疲労感、消化器症状、体重減少、皮膚、粘膜の色素沈着、低血圧、
↳腹痛、下痢
精神症状、脱水、低血糖、意識消失発作
【検査所見】
低Na血症、高K血症、Na/K <30、低血糖、好酸球増加
【内分泌検査】
コルチゾールの低下、血漿ACTHは著明高値
【画像】
CT（副腎の石灰化の有無）
【治療】
グルココルチコイド、ミネラルコルチコイドの補充